

東大附属学校

芸術祭

芸術

2022年3月20日、21日開催

#芸術祭公式SNSアカウント



Twitter

@geijakusai_tofu



Instagram

@geijakusai_tofu

—協賛—



株式会社 サクラバス



maruman®

開催時間 11:00~16:00

開場時間 10:30 閉場時間 16:30

東京大学教育学科附属中等教育学校

芸術祭によせて

東京大学芸術創造連携研究機構副機構長 岡田猛

「会ってみたい!」と思った。友達との関係がうまくいなくて、心理学の本を何冊かひもっていた高校生の頃の話だ。隣町に著者の一人が講演に来るといふ。電車に乗って、高名な学者の話聴きに行った。講演のあと、質問の時間になった。最前列に座っていた私は、思わず手を挙げた。何を話したかは、もう覚えていない。でもその時、心理学をもっと知りたいと思った。16歳の私は、その人の話に触発されたのだ。あれからいくつかの四つ角(crossroads)を曲がって、私は今、大学で心理学を教えている。

附属学校の中高生たちの「一流の人に会いたい」という気持ちから生まれた芸術祭。16歳の私に帰って、出かけてみたい。

東京大学教育学部附属中等教育学校芸術祭によせて

東京大学教育学部長 小玉重夫

私が藤田先生から「東大附属で芸術祭をやりたい」という相談(?)を持ちかけられたのは、忘れもしない、2018年の夏、沖縄でのことでした。以来、折にふれて相談にのったり、こちらから相談を持ちかけたりしていましたが、このたび、ついに芸術祭実現の運びになりましたことを、心よりうれしく思い、お祝い申し上げます。

ここに至ったのも、歴代の校長先生(勝野先生、斎藤先生)と東大附属の先生方のご支援、岡田猛教授をはじめとした東京大学教育学部および芸術創造連携研究機構の諸先生のご尽力、そして何よりも、芸術祭を自らの手で作り上げてきた東大附属の生徒の皆さんの献身的な活動の賜物と思います。

東京大学教育学部としてはこれからも、この芸術祭を、地域と学校を架橋する新しい教育学創成の拠点として位置づけ、OECDの地域エコシステム(きょうそうさんかくたんけんねっと)などとも連携しながら、インクルーシブな知性を育む場にしていくために力を尽くしていきたいと思っております。今後とも変わらぬご支援のほど、お願い申し上げます。

芸術祭によせて

東京大学教育学部附属中等教育学校長 斎藤兆史

Art(アート)という言葉は、本来「つなぎ合わせる」という意味が転じて「技術」の意となり、ラテン語のarsを経て英語に入りました。また、「クロスロード」は、英語ではcrossroadsと複数形で表記します。複数の道がなければ交差点にならないからです。「握手をする」を英訳したときにshake handsとなるのと同じ理屈です。禅の公案には「隻手音声」(片手で鳴らす音やいかに)というものがありますが、現実の握手、拍手には、複数の手が必要です。

芸術という意味のアートも、作り手、描き手、あるいは踊り手がいて、それを鑑賞する見手がいることで大きな力を持ち、人々の心を豊かにします。「アート・クロスロード」の一環として行われる本校の芸術祭が人と人をつなぐ手となり、その人たちの心を豊かにすることを願っています。

芸術祭実行委員長から

まず、第1回東大附属芸術祭の開催にあたりご支援・ご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございます。今年から始まったアートクロスロードプロジェクト、芸術祭に委員長として参加できていることをうれしく思います。このプロジェクトにかかわっていく中で、講演会にて司会を務めたり、打ち合わせを主催したり、様々な貴重な経験をさせていただいています。そんな委員全員の成長と努力が十分に発揮できる2日間になることを願っています。そして芸術祭にかかわった方、参加した皆様が成長し、大切な経験になることを委員一同願っています。

芸術祭実行委員会委員長 5年宮川春樹 小針溪 4年野々村まこ

諸注意

コロナウイルス感染対策に関して

- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・会場出入り口に設置されております、消毒液での手指消毒をお願いいたします。
- ・大声での会話はご遠慮ください。
- ・熱がある方、体調のすぐれない方は入場をご遠慮ください。

校内での注意

- ・指定の場所以外でのお食事はご遠慮ください。
- ・飲み物を飲む際は立ち止まってお飲みください。
- ・催し物が行われていない教室には入らないでください。
- ・酒類(アルコール飲料)・ペットボトル類についての持ち込みは禁止とさせていただきます。
- ・会場内は禁煙とさせていただきます。

災害発生時には

- ・お近くの非常口の誘導灯をご確認ください。
- ・災害発生時には放送を聞き、教職員の指示に従って行動してください。
- ・地震または災害が発生した場合には、主催者の判断により入場者の安全確認を優先し、場合によっては芸術祭を一時中断させていただきます。

講演会・WS時の注意

- ・講演中は携帯電話をマナーモードにご設定ください。
- ・許可のない撮影および録音は、禁止とさせていただきます。
- ・会場内にあります物品に許可なく触ることは固く禁止させていただきます。
- ・講演・WS中は講師の方、又は芸術祭実行委員の指示に従うよう、お願いいたします。

その他

- ・お困りの際には芸術祭実行委員、又は本校舎出入口の受付までお越しください。
- ・会場内外での事故、盗難、参加者同士のトラブル等については、一切責任を負いませんのでご了承ください。
- ・会場内で発生したゴミのお持ち帰りにご協力ください。

目次

○諸注意	3
○芸術祭とは・芸術祭実行委員会とは	5
○タイムスケジュール <1日目>	7
○タイムスケジュール <2日目>	8
○校内図	9
○開催企画 <1日目>	
・黒田学～黒田博樹さんの人生から学ぶこと～/黒田博樹	11
・写真家の現実～写真家を志す～/並木隆	
・捨てないアパレル～未来と向き合う選択～/保坂郁美	12
○展示企画 <1日目>	
・立体浮世絵でKABUKU!/東京大学制作展	
○開催企画 <2日目>	
・紙コップ人間になろう!～身近なもので世界が変わる!?~/LOCO	13
・「自分」を綴る～書くチカラと見詰める力のワークショップ~/尾松亮	
・アイヌ イタカニ イタカンロー!～アイヌ語で話しましょう!~/関根摩耶	14
○開催企画 <両日>	
・音楽はトートバックの中に～さがして、つくって、かなでよう!~/Senju Lab Kids	15
・世界をつなぐ楽器たち～パターンミュージックを奏でよう♪~/坪能由紀子	
○展示企画 <両日>	
・声を形に～リ・デザイン東京2030~/きょうそうさんかくたんけんねっと	16
・切り取られた日常、生まれた物語ーワークショップ作品展示ー/かつお(仁科勝介)	
・活動報告ブース/芸術祭実行委員会	
○部署紹介	17
○委員氏名・編集後記	18

芸術祭とは

「一流を再考する芸術の交差点」をスローガンに、ACUT*と連携しながら、多方面の分野の講師を招き、芸術への見識を深め、一流の芸術について新たな視点から捉えなおす機会を設けるなど、生徒が主体となり様々な試みをしているプロジェクトです。

また、一年の活動の集大成として、この「東大附属芸術祭」を開催します。

* 東京大学芸術創造連携研究機構

芸術祭実行委員会とは

芸術祭実行委員会は今年度新設された委員会です。講演会やワークショップの企画・運営(=アート・クロスロード・プロジェクト)を主な活動としています。毎週火曜日のミーティング(通称:お茶会)では、芸術祭に向けての準備や講師の選定をしたり、この取り組みを外部に広げていくための方法を考えたりしています。委員内の役割は立候補制で、講師の方との打合わせやチラシの作成、講演会やワークショップの企画・運営、お茶会の議題集め・進行等、全てが生徒主体です。



また、部活動のように、生徒が任意で参加し、それぞれの得意分野を生かしながら活動を創り上げられるところは、他の委員会とは異なるところです。委員会としての前例が無いだけに、一人ひとりが想像力を働かせて動かなければなりません。その分、自ら提案し挑戦する力や、外部団体や大学生と連携して企画を達成するためのチームワーク、講演会などのテーマを可視化するデザイン力まで、様々な実践向きの力が身につきます。

活動を一から創り上げる大変さもありますが、私たちが考える「一流」の方たちからの学びはかけがえのないもので、やりがいがあり活気溢れる楽しい委員会です!



<プレゼン大会とは>

「一流」をテーマに、本校生徒や教職員、大学生が、それぞれの思う一流のヒト・モノ・コトをプレゼンし合います。「一流を再考する場」として位置づけており、第1回プレゼン大会を2021年7月21日に開催しました。生徒9組、大学生3名、教員5名によるプレゼンが行われ、ポップカルチャー、スポーツ、伝統文化など様々なジャンルの一流の方が紹介されました。また、参加者の投票により上位となったプレゼンから、黒田博樹さん、関根摩耶さん、LOCOさん、尾松亮さんの芸術祭への参加が実現しています。



メモ

芸術祭実行委員会のロゴについて

芸術祭の特徴は、私たちが考える「一流」の方と生徒(参加者)が交差し共に創り上げるということです。パズルのピースが組み合わさる様子には、私たちだけでは完成しない(=共に創り上げる)という意味を込めています。



< 1 日目 >

	講演会		ワークショップ	
	多目的室	大教室	体育館	生徒ラウンジ
10:00				
11:00	10:30 受付開始 11:00~12:30 並木隆			11:00 受付開始
12:00				11:30~12:45 坪能由紀子
13:00		12:30 受付開始 11:00~12:30 黒田博樹		
14:00	14:00 受付開始		14:00 受付開始	
15:00	14:30~16:00 保坂郁美		14:30~16:00 Senju Lab Kids	
16:00				

< 2 日目 >

	講演会		ワークショップ	
	多目的室	大教室	トレーニング室	生徒ラウンジ
10:00				
11:00	10:30 受付開始 11:00~12:30 尾松亮		11:00 受付開始	10:30 受付開始
12:00			11:30~12:45 LOCO	11:00~12:30 坪能由紀子
13:00		12:30 受付開始		
14:00	14:00 受付開始	13:00~16:00 関根摩耶		
15:00	14:30~16:00 Senju Lab Kids			
16:00				

開催企画 < 1日目 >

黒田学～黒田博樹さんの人生から学ぶこと～

会場 多目的室

時間 14:30～16:00

講師



くろだ ひろき
黒田 博樹

1996年ドラフト2位で広島東洋カープに入団。2007年から7年間、MLBで先発投手としてチームの柱となり活躍。その後カープに復帰し、チームをリーグ優勝に導く。2016年に引退。

講師の黒田博樹さんと本校生徒の二人が、黒田博樹さんの山あり谷ありの人生から私たちが学び、これからの人生に生かすことを目的としての対談が実現!! 主に三つの項目に分けて対談し、後半には質問コーナーで黒田さんに直接質問することができます!

写真家の現実～写真家を志す～

会場 多目的室

時間 11:00～12:30

講師



なみきたかし
並木 隆

1971年生まれ。高校生時代、写真家・丸林正則氏と出会い、写真の指導を受ける。東京写真専門学校(現・ビジュアルアーツ)中退後、フリーランスに。心に響く花をテーマに、各種雑誌誌面で作品を発表。公益社団法人日本写真家協会、公益社団法人日本写真協会、日本自然科学写真協会会員。

写真家本来の仕事は自己表現作品を撮影、プリントして販売することですが、現在の日本でそのような活動をしながら生活できている人はほとんどいません。なぜでしょう?では何をして活動費や生活費を捻出しているのか?なぜそんな写真家を志したのか?そんな写真家の世界を少しですがお話したいと思います。

捨てないアパレル～未来と向き合う選択～

会場 多目的室

時間 14:30～16:00

講師



ほさか いくみ
保坂 郁美

株式会社ニニ 取締役・デザイナー。
京都造形芸術大学卒業。

「捨てないアパレル」を目指すべく持続可能な取り組みに邁進中。2020年埼玉県主催SAITAMA Smile Women ピッチ 2020で最優秀賞受賞。身近な方にこそ洋服で幸せを届けられたらと、お客様一人一人にこだわった丁寧な洋服提案をしています。

洋服のリメイク案を考えるワークショップや、ディスカッションを通して、SDGsの「つくる責任、つかう責任」の大切さや、これからのアパレルについて考えます!

展示企画 < 1日目 >

立体浮世絵でKABUKU! / 東京大学制作展

1日目

終日

場所 IA 教室

「東京大学制作展2021」の展示から委員最推しを展示!江戸から大正にかけて流行した「立体浮世絵」、本展示で実物と現代のARで当時の人々の心を追体験!

講師 東京大学制作展2021「KABUKU!」チーム ①鈴木嵩茂 ②東出りさ

①来歴:千葉県生まれ。東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程在学。現在、技能伝達の遠隔化について研究中。AR化を担当。②来歴:東京都生まれ。メディア企業に勤め社会人学生として東京大学大学院情報学環教育部在学。企画を担当。

開催企画 〈2日目〉

コップ人間になろう！身近なもので世界が変わる!?

会場 トレーニング室

時間 13:00~14:30

講師

ろこ
LOCO

世界でただ一人の紙コップアーティスト。嶋本昭三氏に師事、紙コップアーティストとして活動する。紙コップを用いてイベントやパフォーマンス、WSを展開していく。愛・地球博にて糸でんわWS、2006年にはイタリア・ベネチアで招待個展も開催。

コップをつなぎあわせて球状にしたコップ人間。偶然の産物ですが、かぶってみると、もう一人の自分が現れます。顔が見えない分、いつもの自分の役目を横において、新しい自分の一面を発見！また日常風景にコップ人間があらわれると、いつもは通り過ぎてしまう風景も、違って見えてきます。

「自分」を綴る ~書くチカラと見詰める力のワークショップ~

会場 大教室

時間 11:00~12:30

持ち物 筆記用具

講師

おまつりょう
尾松 亮

作家・ジャーナリスト。東京大学大学院人文社会系研究科修了、モスクワ大学大学院文学部留学。海外調査を基に新聞や雑誌に寄稿。企業向けに思考法や文章術の研修を多数実施。

これまで数々の社会問題に関わり情報発信してこられた尾松さんの実体験をもとに、身近な言葉の「違和感」や、書くことの面白さについて、ご講演いただきます！その後のワークショップでは、参加者自身が文章を書きながら、学びを深めていきます。筆記用具を忘れずに！

アイヌ イタカニ イタカンロー！～アイヌ語で話しましょう！～

会場 多目的室

時間 13:00~16:00

講師

せきね まや
関根 摩耶

アイヌ文化が今でも根強く残る北海道沙流郡平取町二風谷生まれ。現在は大学でアイヌ語研究会に所属。アイヌ語弁論大会2度最優秀賞受賞。YouTube「しとちゃんねる」にて友人とアイヌ語、アイヌ文化発信。イベントや教育機関でのイベント出演、非常勤講師として講演など。

アイヌ語を学んだり話してみたりしましょう。関根さんの体験も交えながらお話いただけます。アイヌ文化の魅力に触れられる貴重な機会です。ぜひご参加ください！

メモ

校内装飾について

今年の装飾テーマは、このプロジェクトのコンセプトでもある「一流を再考する、芸術の交差点」です。装飾を手がけたのは、校内募集で集まった生徒の皆さんです。1~5年と幅広いメンバーが揃い、芸術祭をより盛り上げるため、装飾チームとして冬休みから制作しました。

窓アート

「一流」をテーマに窓に装飾を施しました。「日本の一流」と「世界の一流」を、花札や名画をモチーフに表しています。スタンドグラス風の窓も！校内を回る際に、ぜひご覧ください！

一流の言葉

4年B組にて、スポーツ選手や偉人の言葉、有名小説の一文など、一流の言葉たちがご覧いただけます。新たな発見があるかも！

さらし装飾

1月にワークショップを行い、絵の具で布に色を付けました。よく見てみると、不思議な模様がたくさんあります。階段の天井に吊るされているので、ぜひ立ち止まってご覧ください！

階段装飾

階段の蹴上部分に装飾を施しました。遠くから見てみてください！

開催企画 〈両日〉

音楽はトートバッグの中に～さがして、つくって、かなでよう！～

1日目	会場 体育館	時間 14:30～16:00
2日目	会場 多目的室	時間 14:30～16:00

講師



せんじゅらぼ きっず
Senju Lab Kids

「『知らない』から『好き』になる」をコンセプトに活動する、東京藝術大学学生による音楽と美術のWSチーム。2016年始動。これまで計10回のWSを開催。

チームに分かれて、Senju Lab Kidsオリジナル楽曲のピアノパートに沿いリズムパートを制作&自分の手荷物の中に隠れている“楽器”を使って演奏会を行います！チームごとに「違う“楽器”」、「違う“リズム”」、「違う“音色”」の「曲」を作っちゃおう！

世界をつなぐ楽器たち～パターンミュージックを楽しもう♪～

1日目	会場 生徒ラウンジ	時間 11:30～12:45
2日目	会場 生徒ラウンジ	時間 11:00～12:15

講師



つばのう ゆきこ
坪能 由起子

国内外で音楽づくりに関するWS、講演等を行っている。現在、日本女子大学名誉教授、東京大学芸術創造連携機構(ACUT)講客員フェロー。

パターンミュージックをもとにした、楽曲作成、身近なもので作れるオリジナル楽器を使った演奏会を予定。

展示企画 〈両日〉

声を形に～リ・デザイン東京2030～ / どうきょうさんかくたんけんねっと

両日	終日	場所 Deal教室
----	----	-----------

団体略歴 大人も子どもも一緒に教育や社会の課題について対話し行動するオールジャパンのプロジェクト「きょうそうさんかくたんけんねっと」の地域エコシステムとして活動中です。

企画内容 「2030年の東京・2030年の私」についての「声」を集めて発信する参加型の展示ブースです。様々な声を結集し、未来の東京を創る苗床と一緒に作りましょう。「声」に込められた現在の東京や社会にある課題と可能性を感じることができることでしょう。是非お気軽に、あなたの素直な「声」を残しに来てください！

切り取られた日常、生まれた物語

～ワークショップ作品展示～ / 仁科勝介(かつお)

両日	終日	場所 1年生教室前・廊下
----	----	--------------

今年度7月と10月に、写真家の仁科勝介(かつお)さんに講師を務めていただきワークショップを開催しました！かつおさんと参加者が、校内で撮影した作品を展示します！発想豊かな作品を楽しむとともに、撮影された魅力あふれるスポットを校内で探してみたいかでしょうか？

講師 仁科勝介(かつお)

1996年岡山県倉敷市生まれ。広島大学経済学部経済学科卒。2020年1月に全1741の市町村巡りを達成。同年8月には旅の記録をまとめた『ふるさとの手帖』を出版。

活動報告ブース

両日	終日	場所 実習実験室I(展示)・OA1(映像投影)
----	----	-------------------------

私たち、芸術祭実行委員会が1年を通して行ってきた活動(ACP)の軌跡を見ることが出来る展示スペースとなっています。今までにご講演いただいた講師の方々の講演の映像をOA1・メインスクリーンにて放映中です！ぜひ、お越しください！

部署紹介

記録

本委員会では、毎週火曜日にミーティング（通称「お茶会」）を行っています。記録の役割は、私たちが定期的に開催している講演会やワークショップ、そして芸術祭に向けて、「お茶会」で話し合う議題を収集したり、話し合った内容をまとめ、皆に共有したりすることです。中学生から高校生まで、学年を越えて意見を出し合い、成長してきた委員みんなの想いが伝われば幸いです。

「東大附属芸術祭」をぜひ楽しんでください！

外務

外務の役割は、私たちの活動を校内外の多くの方々に知っていただくことです。そのために、広報班がテレビ局・新聞社などへ取材依頼の文書を手書きしたり、チラシ班が、講演会やワークショップを宣伝するためのチラシ作成をしたりしています。特にチラシについては、毎回、講師の方と打合せをしながら、どのようなイメージにするかを決定し、それをチラシ全体の構成やフォントに至るまで、試行錯誤しながら作りあげています。

Memories

Memoriesでは、講演会やワークショップ当日の写真・ビデオ撮影を4人で分担して行い、それらの記録を委員がいつでも活用できるように保存しています。写真は本委員会のInstagramやTwitterの投稿でも使っています。撮影の際は、講演会やワークショップ全体を客観的に見ることができ、客席とは一味違った会場の雰囲気味わうことができます。

ICT

講演会やワークショップを円滑に進める裏方として、映像、音響のセッティング、Zoom配信を担当しています。また、他のメンバーのお手伝い（雑用！？）もしています。悩みの種は「予算額」と「ご機嫌斜めな日の大教室の音響」です。講師の方のパフォーマンスを最大限引き出し、参加者のみなさんにも楽しんでいただけるよう、精一杯頑張ります！

委員氏名

委員長	5年 宮川春樹 小針溪 4年 野々村まこ	外務	5年 坂田若菜 星梢 4年 越野葵 藤岡美伶 森山実花 翠川龍 岡桃緒子 新聞升子 池田彩乃 3年 赤羽春香 2年 上野友誠	Team Kuroda	2年 森口結 吉成悠馬 上野文六 竹田凌悟 山下老慶 保田駿貴 平本里穂 飯田小蒔 金田晃和 1年 安藤聡志 戸塚英吾 杉本宗介
記録	5年 今川千杏 4年 野々村まこ				
memories	5年 後藤有里子 飯田陽一郎 4年 岩本一真 1年 清水日向				
ICT	5年 松坂風垂 4年 山田英佳 1年 勝又みひろ				

編集後記

このパンフレットの制作は、各頁のレイアウトから表紙や背景のデザインまで、パンフレットチームで協力して行いました。制作にあたっては、すぐに欲しい情報に辿り着ける分かりやすさや読みやすさを一番に意識しました。また、「一流」をお招きする芸術祭ですから、下手なものは作れない！という思いとも戦っていました。私たちの色を出しながらも統一感のあるデザインを目指しましたが、いかがでしょうか？ 記念すべき第一回芸術祭のパンフレット制作に直接携わり、こうして無事に形にすることができ、感慨深い思いです。快く挨拶文を寄せてくださった方々、添削・サポートをしてくださった先生方、実行委員メンバー、印刷業者の方々をはじめ、ご協力いただいた全ての方々に、厚く御礼申し上げます。そして、参加者の皆様がこのパンフレットを片手に芸術祭を楽しんでくださることを願っています。

パンフレットチーム一同

今川千杏 後藤有里子 越野葵 野々村まこ 藤岡美伶 森山実花 山田英佳